

## 令和4年度堺市高齢者等実態調査（介護事業者調査） ご協力をお願い

日頃から、堺市の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

このたび、堺市内をサービス提供区域とする事業所を営む法人を対象に「実態調査」を実施することになりました。

この調査は、事業の運営体制や新たなサービスへの参入意向などについてお伺いして、今後の高齢者保健福祉行政の計画的かつ効果的な推進と、次期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のために役立たせていただくものです。

なお、ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、この調査の目的以外には利用しません。

ご多忙の折、誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただきまして、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 回答に当たってのお願い

- 1 法人単位で作成してください。
- 2 設問をお読みいただき、あてはまる回答を選択または数字を入力してください。設問によって、「選択はひとつ」、「選択はいくつでも」、「選択は3つまで」など、選択できる数が異なりますので、ご注意ください。なお、「その他」を選択された場合は、具体的な内容を入力してください。
- 3 ご回答は、令和5年2月1日現在の状況を入力いただくことを基本とし、設問によって基準日の指定がある場合は、それに従ってください。

**※本調査は、WEBアンケート形式で実施しております。**

**指定のURLからアクセスし、ご回答くださるようお願いいたします。**

<アンケートについてのお問い合わせ先>

堺市 健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課

電話 072-228-8347 FAX 072-228-8918

メールアドレス choshi@city.sakai.lg.jp

※お問い合わせ時間：平日の午前9時から午後5時30分まで

## 法人や実施事業についてお伺いします。

法人名称をお教えてください。

法人名

問1 法人の種類をお教えてください。（選択はひとつ）

- |           |           |           |                      |           |
|-----------|-----------|-----------|----------------------|-----------|
| 1. 営利法人   | 2. 社会福祉法人 | 3. 医療法人   | 4. NPO法人             | 5. 一般社団法人 |
| 6. 一般財団法人 | 7. 公益財団法人 | 8. 生活協同組合 | 9. その他（            ） |           |

問2 今後、堺市内で事業運営を行いたいサービスはありますか。

ある場合はその理由について、それぞれサービス種別ごとに該当する理由を選択してください（理由は各サービス種別につき3つまで）。

また、それぞれ予定する地域があれば該当する地域を選択してください。

サービス種別 (介護予防サービス含む)		今後堺市内で事業運営を行いたいサービス	
		理由	予定地域
居宅サービス	○居宅介護支援		
	①訪問介護		
	②訪問入浴介護		
	③訪問看護		
	④訪問リハビリテーション		
	⑤居宅療養管理指導		
	⑥通所介護		
	⑦通所リハビリテーション		
	⑧短期入所生活介護		
	⑨短期入所療養介護		
	⑩特定施設入居者生活介護		
	⑪福祉用具貸与		
⑫特定福祉用具販売			

サービス種別 (介護予防サービス含む)		今後堺市で事業運営を行いたいサービス	
		理由	予定地域
地域密着型 サービス	①定期巡回・随時対応型訪問介護看護		
	②夜間対応型訪問介護		
	③認知症対応型通所介護		
	④小規模多機能型居宅介護		
	⑤地域密着型通所介護		
	⑥認知症対応型共同生活介護		
	⑦地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		
	⑧看護小規模多機能型居宅介護		
施設サービス	①介護老人福祉施設		
	②介護老人保健施設		
	③介護医療院		

(1) 今後事業運営を行いたい理由  
(各サービスにつき3つまで)

- |                         |                               |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. 土地・建物の確保ができた(できる)ため  | 2. 建築等の整備にあたり資金の確保ができた(できる)ため |
| 3. 利用者確保の見込みがあった(ある)ため  | 4. 事業経営に見合った介護報酬が得られるため       |
| 5. 市で既に他の介護サービスを行っているため | 6. 職員確保の見込みがあった(ある)ため         |
| 7. 事業経営が安定しており余力があるため   | 8. 利用者から他の介護サービスの要望があったため     |
| 9. 特になし                 | 10. その他                       |

(2) 今後事業運営を行いたい予定地域

(選択はいくつでも)

選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区	選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区	選択番号	圏域	圏域を構成する小学校区
1	堺1区	三宝・錦西・市・英彰	8	東1区	南八下・八下西・日置荘・日置荘西・白鷺	15	南3区	上神谷・宮山台・竹城台・竹城台東・若松台・茶山台
2	堺2区	錦・錦陵・浅香山・三国丘	9	東2区	登美丘西・登美丘東・登美丘南・野田	16	南4区	三原台・泉北高倉・はるみ・榎塚台
3	堺3区	熊野・少林寺・安井・榎	10	西1区	浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和	17	北1区	東浅香山・新浅香山・五箇荘・五箇荘東
4	堺4区	神石・新湊・大仙・大仙西	11	西2区	鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東	18	北2区	東三国丘・光竜寺・新金岡・新金岡東
5	中1区	八田荘・八田荘西・深井・深井西	12	西3区	津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝	19	北3区	大泉・金岡・金岡南・北八下
6	中2区	東百舌鳥・宮園・東深井・土師	13	南1区	美木多・赤坂台・新檜尾台・城山台	20	北4区	中百舌鳥・百舌鳥・西百舌鳥
7	中3区	久世・東陶器・西陶器・福田・深阪	14	南2区	福泉中央・桃山台・原山ひかり・庭代台・御池台	21	美原1区	黒山・平尾・美原北・八上・美原西・さつき野

問3 貴法人の職員状況について、それぞれ該当する職員数を入力してください。

A 勤続年数別職員数、B 年齢別職員数を入力してください。

※職員数については、令和4年4月1日現在の人数を入力してください。

A 勤続年数別職員数(人)						B 年齢別職員数(人)									
正規職員			非正規職員			正規職員					非正規職員				
1年未満	1年以上 5年未満	5年以上	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上	30歳未満	30歳 ~ 39歳	40歳 ~ 49歳	50歳 ~ 59歳	60歳以上	30歳未満	30歳 ~ 39歳	40歳 ~ 49歳	50歳 ~ 59歳	60歳以上

問4 現在、事業運営している中で、最も不安に感じていることは何ですか。  
(選択はひとつ)

1. 財政状況
2. 人手不足
3. 後継者不足
4. 施設の老朽化や安全性の課題
5. 利用者からの苦情、要望
6. 事業運営のための情報やノウハウの不足
7. その他 ( )
8. 特にない

問5 現在のサービス提供状況からみて、職員数の過不足はありますか。  
(選択はひとつ)

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 1. 非常に不足している     | 2. やや不足している |
| 3. 過不足なく適当な状態である | 4. やや多い     |
| 5. 非常に多い         |             |

問5で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問5-1 職員数が不足している主な理由は何ですか。(選択はひとつ)

1. 新規雇用の際、思った程の人材を確保できなかったため
2. 新規採用者が短期間で退職していくため
3. 新規採用者に限らず離職者が増えているため
4. その他 ( )

問6 貴法人の職員の定着率をどう感じていますか。(選択はひとつ)

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| 1. 非常に定着率が良い      |           |
| 2. どちらかという而定着率が良い | → 【問6-1へ】 |
| 3. どちらかという而定着率が悪い |           |
| 4. 非常に定着率が悪い      | → 【問6-2へ】 |

問6で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問6-1 職員の定着率が良い主な理由は何だと思いますか。  
(選択は3つまで)

1. 給与がよいため
2. 職員がやりがいを感じているため
3. 福利厚生に力を入れているため
4. 職員の研修に力を入れているため
5. キャリアアップの制度など取り入れているため
6. 職場に対する相談体制を確保しているため
7. 経営理念・方針を職員と共有できているため
8. その他 ( )
9. わからない

問6で「3.」「4.」と回答した法人にお伺いします。

問6-2 職員の定着率が悪い主な理由は何だと思いますか。  
(選択は3つまで)

1. 給与が低いため
2. 職員がやりがいを感じられていないため
3. 福利厚生が十分でないため
4. 職員にとって身体的・精神的な負担が大きいため
5. 職員の研修体制が十分でないため
6. キャリアアップの制度などが整備されていないため
7. 職場に対する相談体制が十分でないため
8. 経営理念・方針の共有が十分でないため
9. その他 ( )
10. わからない

問7 介護職員等特定処遇改善加算を取得していますか。(選択はひとつ)

1. はい
2. いいえ
3. 一部の施設(事業所)のみ

問7で「2.」「3.」と回答した法人にお伺いします。

問7-1 取得しない主な理由は何ですか。(選択はいくつでも)

1. 対象のサービスでないため
2. 取得要件を満たしていないため
3. その他( )

問8 職員に対する社内・社外研修について、あてはまるものを選択してください。(選択はひとつ)

1. 内部研修を実施しており、外部研修にも参加させている
2. 内部研修は実施しているが、外部研修には参加させていない  
→【問8-1へ】
3. 内部研修は実施していないが、外部研修には参加させている
4. 内部研修は実施していないし、外部研修にも参加させていない  
→【問8-2へ】
5. その他( )

問8で「1.」「2.」と回答した法人にお伺いします。

問8-1 内部研修の具体的な内容について入力してください。

問8で「4.」と回答した法人にお伺いします。

問8-2 研修等を実施していない理由は何ですか。(選択は3つまで)

1. 時間的余裕がないため
2. 費用が高額であるため
3. 内部研修を企画するノウハウがないため
4. 内部研修をする指導者がいないため
5. 参加させたい外部研修がないため
6. 必要がないため
7. その他( )

問9 介護の仕事に携わる外国人労働者を受け入れていますか。  
(選択はひとつ)

1. 受け入れている
2. 受け入っていない

問9で「1.」と回答した法人にお伺いします。

問9-1 どの制度に基づいて外国人労働者を受け入れているのかお教えてください。(選択はいくつでも)

1. EPA(経済連携協定)に基づく外国人介護福祉士候補者の受け入れ
2. 在留資格「介護」をもつ外国人の受け入れ
3. 技能実習制度を活用した外国人の受け入れ
4. 在留資格「特定技能1号」をもつ外国人の受け入れ
5. その他( )

問10 今後(または引き続き)、外国人労働者を活用する予定はありますか。(選択はひとつ)

1. 活用する予定はある
2. 活用する予定はない

問11 今後(または引き続き)、外国人労働者を活用するうえでの課題は何ですか。(選択はいくつでも)

1. 利用者との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
2. 日本人の職員との会話などにおいて、意思疎通に支障がある
3. 日本語の読解力や文章力の不足などにより、介護記録の作成に支障がある
4. 生活習慣の違いなどにより、日常的な業務に支障がある
5. 受け入れるための制度や外国人労働者の活用方法がわからない
6. 人件費以外に様々なコストが必要になる

問12 職員の確保や質の向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。(選択は3つまで)

1. 基本的な技術や実践的知識の向上
2. 利用者からの苦情や相談への対処能力の向上
3. 利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上
4. 職員の福利厚生の実施
5. 職員のモチベーション保持のための制度の実施(キャリアアップなど)
6. 職場に対する相談体制の確保
7. 意思疎通を図るためのミーティングの実施
8. 外部研修への参加
9. 介護職の魅力向上に向けた取り組み
10. 他の事業所との情報交換会
11. 介護職員の負担軽減(ICTや介護ロボットの導入など)
12. 職員の報酬や手当等の充実
13. その他( )

問 13 令和3年度の貴法人の介護事業会計についてお伺いします。介護事業収支は、どのような状況ですか。（選択はひとつ）

1. 大幅な黒字である 2. やや黒字である → 【問 13-1 へ】  
3. ほぼ収支が均衡している  
4. やや赤字である 5. 大幅な赤字である → 【問 13-2 へ】

問 13 で「1.」「2.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-1 その主な理由は何だと思えますか。（選択は2つまで）

1. 一定以上の利用者数を確保できたため  
2. 利用者1人当たりについて、一定以上のサービス量を確保できたため  
3. 人件費・事務費・事業費などの経費の支出を低く抑えることができたため  
4. 介護報酬が改定されたため  
5. その他（ ）

問 13 で「4.」「5.」を選んだ法人にお伺いします。

問 13-2 その主な理由は何だと思えますか。（選択は2つまで）

1. 当初見込んだ利用者数を確保できなかったため  
2. 見込んだ利用者1人当たりのサービス量を確保できなかったため  
3. 人件費・事務費・事業費などの経費が予想より大きかったため  
4. 介護報酬が改定されたため  
5. その他（ ）

問 14 貴法人から見て、堺市では以前と比べて、多職種での連携※が進んでいると感じますか。（選択はひとつ）

1. とても進んでいると感じる  
2. まあ進んでいると感じる  
3. あまり進んでいないと感じる  
4. まったく進んでいないと感じる  
5. わからない

※連携：日頃から情報共有をしており、連絡や相談などの業務がスムーズに行えている状態

問 15 多職種での連携において、業務上困っていることは何ですか。（選択はいくつでも）

1. 多職種での情報共有がうまくいかない  
2. 病院との退院調整がスムーズでない  
3. 他の職種の連絡先（依頼先）がわからない  
4. 他の職種の業務内容（対応できる範囲）がわからない  
5. 他の職種の情報（医療・介護の資源情報）の取得方法がわからない  
6. その他（ ）  
7. 困っていることはない



災害時の対策についてお伺いします。

問 16 貴法人の災害に対する対策の実施状況について、それぞれサービス種別ごとに該当するものをすべて選択してください。

サービス種別 (介護予防サービス含む)		(1) 地震・津波対策			(2) 風水害対策 (土砂災害は除く)			(3) 火災対策			(4) 土砂災害対策		
		実施済 み	検討中	実施・検 討のどち らもして いない	実施済 み	検討中	実施・検 討のどち らもして いない	実施済 み	検討中	実施・検 討のどち らもして いない	実施済 み	検討中	実施・検 討のどち らもして いない
居宅サービス	①通所介護												
	②通所リハビリテーション												
	③短期入所生活介護												
	④短期入所療養介護												
	⑤特定施設入居者生活介護												
地域密着型 サービス	①認知症対応型通所介護												
	②小規模多機能型居宅介護												
	③地域密着型通所介護												
	④認知症対応型共同生活介護												
	⑤地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護												
	⑥看護小規模多機能型居宅介護												

サービス種別 (介護予防サービス含む)		(1) 地震・津波対策			(2) 風水害対策 (土砂災害は除く)			(3) 火災対策			(4) 土砂災害対策		
		実施済み	検討中	実施・検討のどちらもしない	実施済み	検討中	実施・検討のどちらもしない	実施済み	検討中	実施・検討のどちらもしない	実施済み	検討中	実施・検討のどちらもしない
サービス施設	①介護老人福祉施設												
	②介護老人保健施設												
	③介護医療院												

問 17 業務継続計画（BCP）の作成状況は、どのような状況ですか。（選択はひとつ）

1. 運営するすべての施設（事業所）で作成済み
2. 運営するすべての施設（事業所）で作成中
3. 運営するすべての施設（事業所）で未作成
4. 運営する一部の施設（事業所）で作成済み

**問 18 から問 22 は、居宅介護支援事業所を運営している法人にお伺いします。**

問 18 貴法人から見て、堺市の要介護者（要介護 1～5）にとって不足していると感じるサービスは何ですか。（選択はいくつでも）

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与
13. 特定福祉用具販売
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. 認知症対応型通所介護
17. 小規模多機能型居宅介護
18. 認知症対応型共同生活介護
19. 地域密着型特定施設入居者生活介護
20. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 介護老人福祉施設
23. 介護老人保健施設
24. 介護医療院
25. 特になし

問 19 サービスを実施するにあたって、外部の諸機関との連携はどの程度とれていますか。下記の①～⑧の項目ごとに、あてはまるものを選択してください。（それぞれ選択はひとつ）

連携の相手	連携の程度	大変うまく連携がとれている	おおむね連携はとれている	どちらともいえない	あまり連携はとれていない	まったく連携がとれていない
①他の居宅介護支援事業者		1	2	3	4	5
②他の居宅サービス提供事業者		1	2	3	4	5
③他の地域密着型サービス提供事業者		1	2	3	4	5
④他の施設サービス提供事業者		1	2	3	4	5
⑤医療機関		1	2	3	4	5
⑥介護保険以外のサービス提供機関 (ボランティア・NPO含む)		1	2	3	4	5
⑦地域包括支援センター		1	2	3	4	5
⑧行政機関		1	2	3	4	5

問 20 困難ケースなどについて地域包括支援センターへ相談したことはありますか。（選択はひとつ）

1. ある

2. ない

問 20 で「1.」と回答した法人にお伺いします。

問 20-1 地域包括支援センターに相談した内容について、あてはまるものを選択してください。（選択はいくつでも）

1. 虐待について(セルフネグレクトを含む)
2. 本人の意思決定が困難で、代わって決定する人がいないことについて
3. 本人や家族に精神障害や知的障害があることについて
4. 必要なサービスを拒否することについて
5. 周辺症状への対応が難しい認知症について
6. 在宅の意思が強いが、独居等で在宅に限界があることについて
7. 医療依存度が高いことについて
8. 多重債務・消費者被害などで権利擁護が必要なことについて
9. 経済的困窮について
10. 制度説明やサービス調整に時間を要することについて
11. その他（ ）

問 21 定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスが最も有効な方はどのような方だと思いますか。（選択はひとつ）

1. 独居高齢者
2. 病院への入退院を繰り返す高齢者
3. 介護する側の負担軽減が必要な高齢者
4. 不定期の訪問介護や訪問看護のニーズがある高齢者
5. その他（ ）

問 22 現在（令和5年2月1日）の居宅介護支援事業所の担当件数を入力してください。そのうち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居されている方の件数を入力してください。

①担当件数（ ）件

②うち、有料老人ホーム又はサービス付き高齢者向け住宅に入居中（ ）件

